評価問題

次の二つの作品から、どちらかを選んで、後の問いに答えなさい。

問一　選んだ作品の文章に表れているものの見方や考え方に対して、あなたはどのように考えますか。条件１と条件２にあわせて書きなさい。

　　　条件１　第一段落に、登場人物の行動や物語の展開の意味を考えたり、登場人物と自分との考え方の違いを挙げたりしながら、「文章に表れ

ているものの見方や考え方」を捉えて書くこと。

　条件２　第二段落に、「文章に表れているものの見方や考え方」に対するあなたの考えとその理由を、あなたの知識や経験と照らし合わせな

がら、具体的に書くこと。

問二　『故郷』と自分の選んだ作品とを読んで、あなたは「生きる」とはどのようなことだと考えますか。条件１と条件２にあわせて書きなさい。

条件１　第一段落に、二つの作品から理解したことを結び付けて、あなたの考えを書くこと。

条件２　第二段落に、あなたの考えを文章に表れているものの見方や考え方と比べたり、他者の考えと比べたりしながら、あなたの考えを説

明すること。

『少年の日の思い出』　ヘルマン＝ヘッセ

『走れメロス』　　　　太宰治

◆問１について

〔正答例〕

『少年の日の思い出』を選んだ場合

『少年の日の思い出』は，「私」と私の客である「彼」と現在のチョウへの思いが描かれる前半部分と「彼」が少年時代のチョウの思い出を語る後半部分で構成されている。【中略】Ａ最後の場面で，家に帰った「僕」は，闇の中でチョウを一つ一つ取り出し，指で粉々に押しつぶす。そして Ｂヘルマン＝ヘッセは，「一度起きたことはもう償いのできないものである」という考え方を示して作品を終えている。

Ｃこの最後の場面の「僕」の行動は，衝動的に行動した結果，盗みを犯し，美しいチョウを潰してしまった自分への戒めを表す行動であると言える。また，「一度起きたことはもう償いのできないものである」ということを忘れないように自分の心に刻みつける行動であるとも言える。Ｄ私は，相手の生命や心を深く傷付けるような出来事については作者の言うように「償いができないものである」と思うが，それを一生背負っていくことは「形を変えた償い」のようにも思う。人は過ちを犯さずには生きていけない。そのことを忘れなければ，そして二度と繰り返さなければよいのではないか。確かにヘルマン=ヘッセのいうように「一度起きてしまったこと」はなくならない。けれども，大切なのは過ちを犯してしまったあとの生き方だと私は思う。もしかしたら相手によっては一生許されないことかもしれない。だから，私が，もし自分がその立場になったなら，「彼」のように心に秘めて生活していくと思うし，どこかで他の誰かに「許し」を求めてしまうと思う。何年か経ったあと「彼」のように反省し，語ったときには，その思いをしっかり受け止めて「前に向かって歩き出す」ことを応援してもらいたいし，逆の立場なら応援していきたいと思う。

『走れメロス』を選んだ場合

 『走れメロス』は王の邪知暴虐さを許せないメロスが王を改心させるためにある約束をすることから始まる。正義感の強いメロスは約束を破ることは微塵も考えていなかった。だから，メロスは第一の試練である「川の氾濫」に対しても恐れることなく飛び込む。どれだけ波にあおられようと勇猛果敢に立ち向かうのである。向こう岸にたどり着くころには体力も使い果たしているはずなのに，そのまま休むことなく先を急いでいく。Ａ第二の試練の山賊もものともしない。荒れ狂う川を泳ぎ切った後とは思えないぐらい軽快に倒していくのである。Ｂメロスが揺るがないのは，「王との約束を果たして友人を救い出す」という強い意志を持っているからだ。しかし，第三の試練ではこれまでのようにはいかなかった。太宰治は人間には弱い心があり，「身体が疲労すれば精神ともにやられる」という考えを示している。【中略】

　そこで，メロスがたやすく乗り越えられた第一，第二の試練と乗り越えるのに時間がかかった第三の試練は何が違うのかを自分なりに考えてみた。Ｃ第三の試練でメロスが闘った相手は疲労困憊した自分の体と目に見えない弱い自分の心だった。つまり，これまでは自分ではない相手と闘ってきたメロスが，唯一勝てない相手が自分だったということが言える。またこのときは疲労困憊していて，冷静に物事を判断できる状態ではなかったことも要因の一つと考えられる。メロスの本心のように思える数々の心の声は，これまでの自分を否定したくないという思いから発せられている言葉のように思う。人は誰でも弱い心を持っている。楽な道があればそちらに流されてしまうこともあるし，それではいけないととどまることもある。とどまれないときは気持ちが安定していないことが多い。Ｄ私もメロスと同じように自分と葛藤した経験がある。それではいけないと思う心があるから，そのときは余計につらかった。そんなとき友人がこれまでの自分を否定するのではなく認めてくれ，少し気持ちが落ち着いた。しかしこのときのメロスのそばには誰もいない。だからメロスは自分で，これまでの自分を振り返り認めようとしているのではないか，そして理想から遠ざかってしまった自分を責めて壊れてしまう自分を守ったのではないかと思った。

※文章中の下線は，以下の内容を表している。

Ａものの見方や考え方が表れている部分の引用，Ｂ文章に表れているものの見方や考え方，

Ｃ登場人物の言動の意味，Ｄものの見方や考え方に対する自分の考え

〔解答類型〕

|  |  |
| --- | --- |
| 解答類型 | 正答 |
| （正答の条件）次の条件を満たして解答している。①　第１段落に，登場人物の行動や物語の展開の意味を考えたり，登場人物と自分との考え方の違いを確認したりして，文章に表れているものの見方や考え方を捉えている。②　第２段落に，①に対する自分の考えとその理由を書いている。③　②を自分の経験や知識を踏まえて具体的に書いている。 |  |
| １ | 条件①，②，③を満たして解答しているもの。 | ○ |
| ２ | 条件①，②を満たし，条件③を満たさないで解答しているもの。 |  |
| ３ | 条件①，③を満たし，条件②を満たさないで解答しているもの。 |  |
| ４ | 条件①を満たし，条件②，③を満たさないで解答しているもの。 |  |
| ５ | 条件①の一部のみ満たしているもの。※　条件②，③を満たしているかどうかは不問とする。 |  |
| 99 | 上記以外の解答 |  |
| ０ | 無解答 |  |

〔解答類型について〕

〇　【解答類型１】は，登場人物の行動や物語の展開の意味を考えたり，登場人物と自分との考え方の違いを確認したりして，文章に表れているものの見方や考え方を捉えている。更にそれらに対する自分の考えと理由を，自分の知識や経験を踏まえて具体的に書くことができている。

〇　【解答類型２】は，考えを自分の知識や経験に結びつけて書くことに課題がある。具体的に例として以下のようなものが考えられる。

（例）

・　作者の「一度起きたことは，もう償うことのできない」という考え方に対して，私は確かにその通りだと思う。その理由は，心の傷は消すことができないからだ。

・　ディオニス王の「人間は，もともと私欲のかたまりさ。信じては，ならぬ。」という考え方に対して，私は人間の本質を見抜いた考えだと思う。その理由は，人間はやはりまず自分にとって都合の良いことを考える傾向にあるからだ。

　　※自分の考えを経験や知識を踏まえて具体的に書いていない。

〇　【解答類型３】は，自分の考えを明確にすることに課題がある。具体的な例として以下のようなものが考えられる。

（例）

・　作者の「一度起きたことは，もう償うことができない」という考え方に対して，この前私も友だちに対して余計なことを言って気まずいことになっている。

・　ディオニス王の「人間はもともと私欲のかたまりさ。信じては，ならぬ。」という考え方に対して，仲の良いクラスメイトとパンを半分にわけるという時に，あまりに美味しそうなパンだったので多い方を取って食べてしまった。

　　※自分の考えが明確に書かれていない。

〇　【解答類型４】は，自分の考えを明確に書くこと，更に自分の知識や経験にも照らし合わせて書くことに課題がある。具体的に例として以下のようなものが考えられる。

（例）

・　エーミールの大事な蝶を壊してしまった僕が，一生懸命謝罪しても，冷淡に軽蔑される様子から，作者は「一度起きたことは，もう償うことができない」と悟った。

・　ディオニス王の「人間はもともと私欲のかたまりさ。信じては，ならぬ。」という言葉から，過去に裏切られた経験があり，人を疑うようになってしまった。しかし、ディオニス王の「わしだって，平和を望んでいるのだが。」という言葉に，王の本心は国の平和を願うが故に人を信じられなくなってしまったことがわかる。

　　※自分の考えを，自分の知識や経験と照らし合わせて書いていない。

〇　【解答類型５】は，①文章に表れているものの見方や考え方を捉えているが，登場人物の行動や物語の展開の意味を考えたり，登場人物と自分との考え方の違いを確認したりして書くことに課題がある。②登場人物の行動や物語の展開の意味を考えたり，登場人物と自分との考え方の違いを確認したりしているが，文章に表れているものの見方や考え方を捉えて書くことに課題がある。具体的に例として以下のようなものが考えられる。

（例①）

・　作者は「一度起きたことは，もう償うことができない」と悟った。

・　ディオニス王は国の平和を願うが故に人を信じられなくなってしまった。

（例②）

・　エーミールの大事な蝶を壊してしまった僕が一生懸命謝罪しても冷淡に軽蔑される様子から，人生には取り返しのつかないことがある。

・　ディオニス王の「人間はもともと私欲のかたまりさ。信じては，ならぬ。」という言葉から，過去に裏切られ経験があったのかと想像できる。

〔実際の生徒の解答（例）〕

『少年の日の思い出』を選んだ生徒の解答（例）

Ａ登場人物である僕は，エーミールのクジャクヤママユを手に入れたいという気持ちから，エーミールの蝶を盗んでしまう。本文には，Ａ「この宝を手に入れたいという逆らい難い欲望を感じて，僕は生まれて初めて盗みを犯した。」と書かれており，Ｂ僕はどうしても蝶がほしかったことがわかる。このことから主人公である僕は蝶に対して強い熱意をもっており，好きなものを最優先する考え方を持っていると思われる。

Ｃ私は，好きなものに熱中してしまうと，他の周りのことに集中しにくくなると考えた。Ｄ私も以前，盗んだわけではないが，姉の服を勝手に，許可をとらず着たら怒られてしまった。怒られた後は，許可も取らず着たことを反省した。この経験から，自分の好きなこと，最優先したいことだけを考えていたら後のことを考えられなくなってしまうと学んだ。

『走れメロス』を選んだ生徒の解答（例）

Ａメロスの身代わりとして呼ばれたセリヌンティウスが，事情を聞いただけで身代わりを引き受けることは，なかなかできないと思う。特に，命がかかっているのなら，僕は引き受けないと思う。また，Ａメロスもセリヌンティウスも互いに１度ずつだけ相手を疑ったが，そのことも打ち明け，１度ずつ殴って抱擁することはＢ真の友だからこそできることだと思う。僕なら，終わったことなので相手を疑ってしまったことは隠してしまうと思う。また，Ａ暴君ディオニスも，はじめは疑うことばかりしていたが，メロスとセリヌンティウスのやり取りを見て，Ｂ人を信じることも大切だと改心していた。この３つのことから，Ｃ『走れメロス』は，真の友のことをとにかく信じて，疑ってしまったことも隠さないような仲のことで，真の友情はどんなに悪い人の考え方や心も変えることができるということを伝えたかったのだと思う。

Ｄ僕は，真の友のことをとにかく信じて，疑ってしまったことも隠さないことは大切なことだと考えた。僕は，友達だと思える人はいるが，相手の言ったことをすべて信じているわけではなく，ある程度疑ってから本当だったんだと思うようなことが多い。なので，これからはまず相手のことを信じて，それから本当なのか確認するようにしたいと思った。真の友情はどんなに悪い人の考え方や心も変えることができるということには，共感したが，人の前で真の友情を見せるよりも，自分が正面からその人と話をして，自分の気持ちを伝えたほうが相手の考え方や心を変えられると思った。テレビなどで，最初は絶対に協力しないといっていた人も，真剣に気持ちを伝えたり何度もお願いすることで協力してくれたりしているのを見たことがある。真の友情で人の心を動かすことのいいと思うが，自分が正面からその人と話をしたほうがより相手の心は動かせると思う。また，自分は，相手に自分の気持ちなどを真剣に伝えて，心を動かせるようにしたいと思った。

※文章中の下線は，以下の内容を表している。

Ａものの見方や考え方が表れている部分の引用，Ｂ文章に表れているものの見方や考え方，

Ｃ登場人物の言動の意味，Ｄものの見方や考え方に対する自分の考え

◆問２について

〔正答例〕

『少年の日の思い出』を選んだ場合

『故郷』と『少年の日の思い出』を読んで，Ｃ私は「生きるとは，自分にとってつらい出来事や体験があったとしても，勇気をもち行動することがよりよい未来に繋がると信じて生活すること」だと考える。『故郷』では，二十年ぶりに故郷に帰った「私」が，Ａ思い出の中の故郷とは全く違う暗く絶望的な現実を，人々の自覚と連帯によって打開し，人々が人間らしく生きられるように「新しい生活」を実現させたいと願っている。凶作や重い税金など生きにくい社会で魂をすり減らし心がまひする生活によって，ルントーと私のように互いに心が隔絶してしまいただ絶望するだけではなく，Ａこれからは社会全体が希望を持ち共に行動することで新しい生活へと変えていくことが大切だと考えている。また『少年の日の思い出』では，「僕」は衝動的に行動した結果，エ―ミールのチョウを壊し，エ―ミールから軽蔑され，自分にとって大切であったチョウの収集を一つ一つ粉々に潰すことになる。この事件は，Ａ他者からの信頼を失い，「一度起きたことはもう償いのできないものである」ということを思い知らされた辛い出来事だったと思われる。しかし勇気を出してエ―ミールにすべてを打ち明けこの出来事と向き合い，心に刻みつけて生きてきたから，「私」と過去の恥ずかしい出来事を打ち明けられるような間柄まで信頼関係を築けたのだと思う。どちらの作品も,Ａ「希望をもち行動を起こすこと」や「苦い体験に背を向けず向きあうこと」で未来につなげたいという生き方がわかる。

Ｂ『故郷』には，作者の「希望とは願う人が多くなれば，それが現実になるのだ」という考え方が表れている。私はこの考えに共感できる。一人の力ではどうにもできないことでも，同じ考えを持つ者と共に行動を起こすことで社会は変えられると思うからだ。それにはまず周囲の反応を恐れず勇気を出して自分の考えを表すことも大事なことだと思う。『少年の日の思い出』には，作者の「一度起きたことはもう償いのできないものである」という考え方が表れている。確かにそういう面はあるが，過ちを経験した後にどのように行動するかが大事だと思う。自分の行動を顧みて，同じ失敗を繰り返さないためにどうするかを考えなければ何も変わらない。「一度起きたら償いのできないこともある」ということは心に留めながらも，チャレンジすることに恐れず，失敗すればその都度立ち止まって考えることを大切にしたい。Ｃ生きていくことは，迷ったり悩んだりすることの繰り返しであると思う。この二つの作品から考えたように，つらい出来事や苦い体験に向き合うことを恐れず，自分が行動を起こすことで未来を変えられると希望を信じて生きることを大切したい。そして自分の人生をより豊かなものとしたいと思う。

『走れメロス』を選んだ場合

『故郷』と『走れメロス』を読んで，Ｃ私は「生きるとは困難なことがあろうとも，あきらめたり心の弱さに負けたりせず強い意志をもって生活すること」だと考える。『故郷』では，「私」が二十年ぶりに故郷に帰り，Ａ思い出の中の故郷とは全く違う暗く絶望的な現実を，人々の自覚と連帯によって打開し，人々が人間らしく生きられるように「新しい生活」実現させたいと願っている。同じ希望を持つ人と共に勇気をもち行動を起こすことが大切なのだと考えている。また『走れメロス』では，【中略】，自身の心の弱さに打ち勝ち信実とは何かを王に考えさせることになる。どちらの作品も，「困難だと思われることにあきらめたり」，「苦難から逃げ出したりせず」向き合おうとする強い意志をもち生きていこうとしている。

Ｂ『故郷』には，作者の「一人の力ではどうにもできないとそこであきらめるのではなく，他者と共に同じ方向を向き変化を求めていくことで社会は変えられる」という考え方が表れている。確かに一人で考えているだけでは何も変わらないことが，同じ意見を持つ仲間と声を上げることで，ある活動が始まったり変化を起こせたりすることは学級や学校という小さな社会でもよくあることだと思う。『走れメロス』には，「自身の弱さと向き合いそれを乗り越えることが大切である」という考え方が表れている。道徳の授業でも，自分の弱さと真正面から向き合いそれを克服した結果，それまでの自分とは違う成長した自分に出会えたと学んだ。目標をもって何かに取り組もうとするときに，自身の弱点を素直に受け入れるのは簡単なことではないかもしれないが，自分を成長させるために大切にしていきたいことだと思う。Ｄこれまでの人生の中で大きかれ小さかれ誰もが一度は挫折を味わっているのではないだろうか。または受験を控えている今が，まさにその時かもしれない。目指すものが高ければ高いほど途中で挫折感を味わい，あきらめたくなる気持ちが生じるかもしれないが，明るい未来を信じ強い意志をもって生きていきたいと思う。

　　※文章中の下線は，以下の内容を表している。

Ａ作品に表れているものの見方や考え方，Ｂ自分や他者の考え方との比較，

Ｃ「生きる」に関する自分の考え

〔解答類型〕

|  |  |
| --- | --- |
| 解答類型 | 正答 |
| （正答の条件）次の条件を満たして解答している。①　第１段落に，「生きる」ことについて自分の考えを書いている。②　①について，二つの作品から理解したことを結び付けて書いている。③　第２段落に，第１段落に書いた自分の考えを，文章に表れているものの見方や考え方と比べたり，他者の考えと比べたりして，説明している。 |  |
| １ | 条件①，②，③を満たして解答しているもの。 | ○ |
| ２ | 条件①，②を満たし，条件③を満たさないで解答しているもの。 |  |
| ３ | 条件①，③を満たし，条件②を満たさないで解答しているもの。 |  |
| ４ | 条件①を満たし，条件②，③を満たさないで解答しているもの。 |  |
| 99 | 上記以外の解答 |  |
| ０ | 無解答 |  |

〔解答類型について〕

〇　【解答類型１】は，二つの作品の理解や評価を踏まえて，「生きる」ことについて自分の考えを書いている。更に，文章に表れているものの見方や考え方と比べたり，他者の考えと比べたりすることで自分の考えを深めて説明している。

〇　【解答類型２】は，文章に表れているものの見方や考え方と比べたり，他者の考えと比べたりして，自分の考えを説明することに課題がある。具体的に例として以下のようなものが考えられる。

（例）

・　『故郷』の私は現在と過去のギャップを受けとめ，『少年の日の思い出』では私の少年時代の苦い経験を受けとめていることから，生きるとは過去の自分の上を歩いていくことだと私は思う。

・　『故郷』の希望を抱くことや『走れメロス』の愛や誠の力を信じることから，生きる上で重要なのは，前向きな想いではないかと私は思う。

※文章に表れているものの見方や考え方，または他者の考えと自分の考えを比較していない。

〇　【解答類型３】は，二つの作品の理解や評価を結び付けて自分の考えを書くことに課題がある。具体的な例として以下のようなものが考えられる。

（例）

・　人生とは，失敗しないように妥協して生きていくものであるという人がいるが，私は理想を追及して失敗を繰り返す生き方も良いと思う。

　　※二つの作品との繋がりが書かれていない。

〇　【解答類型４】は，二つの作品からの理解を結び付けたり，文章に表れているものの見方や考え方と比べたり，他者の考えと比べたりして，自分の考えを説明することに課題がある。具体的に例として以下のようなものが考えられる。

（例）

・　私は生きることとは，いろいろなことに挑戦して，自分で道を切り開いていくことだと思う。

〔実際の生徒の解答例〕

『少年の日の思い出』を選んだ生徒の解答（例）

Ａ「生きる」という事に対し故郷から理解したことは，とても大変なことだが，みんなが支え合い，互いのことを理解し尊重することができればより良い生活が送れるということだ。

少年の日の思い出から理解したことは，Ａ優しい人，冷淡な人，趣味に熱中する人，など様々な人がいて，その人たちと関わることで自分の考えをもち，様々な経験を積んで自分を豊かにしていくことだ。このことから，Ｃ私は「生きる」ということは，自分の考えを持つ過程で様々な経験を積んで，様々な人と関わり互いのことを理解し尊重することでより良い関係を築き死んでしまうまでの人生を豊かにするための行為だと考える。

故郷の「滅相な，ご隠居様，なんとも…とんでもないことでございます。あの頃は子供で，何のわきまえもなく…。」とルントーが言っている場面で，ルントーは子供の頃仲が良かった私に対して他人行儀な態度を取っている。このとき私は「そんな風にしなくてもいいよ」という感じだったのに，ルントーは立場を気にしてこのような態度を取ってしまた。Ｂ私はこの私とルントーの態度を比べて，私のように相手の立場が自分より下だったとしても仲の良い人とは友人のように接したいと思う。しかし，本当に立場を重視している人もいると思う。なので，前の段落で述べたとおりＣ互いのことを理解し尊重することで，相手とより良い関係を築けると考える。

『走れメロス』を選んだ生徒の解答（例）

私は，「故郷」と，「走れメロス」の２つの作品を読んで，Ａ「生きる」ということは，人と心を通わせることではないかと考えました。

「故郷」のルーシュンとルントーは，身分の差や年月の経過により，心に厚い壁ができてしまいました。そして，「走れメロス」のメロスとセリヌンティウスは，お互いを信じて，走り続けたり，待ち続けたりしていました。

Ｂ「生きる」ことは，沢山の人と関わってできているものだと考えます。良い影響を与える関わりもあれば，自分に必要のない関わりもあるとは思いますが，その構築されてきた全てによって，自分ができるのだと思います。

Ｃ人と関わるのを怖がらず，恐れずに生きてほしい，と言うメッセージを両作の筆者から感じました。私もそのように生きていきたいと思いました。

　　※文章中の下線は，以下の内容を表している。

Ａ作品に表れているものの見方や考え方，Ｂ自分や他者の考え方との比較，

Ｃ「生きる」に関する自分の考え